

雪のある毎日を快適に過ごすために

皆さんへのお願い

市では交通の確保と安全な通行のために全力で除雪作業に取り組みます。しかし、限られた時間の中で効率良く除雪するためには、皆さんのご協力が欠かせません。

❖ 道路に雪は出さない

除雪された道路に雪を出すと、除雪の効果がなくなるほか、路面のわだちや凸凹ができ、交通障害や事故の原因となるなど大変危険です。またロードヒーティングをしている所に、一度に大量の雪を出すと、雪が溶けずに交通の妨げになることがあります。

❖ 玄関前の除雪は皆さんで

除雪車が通った後、各家庭の玄関などに雪が残ります。しかし、通勤・通学時間帯前の短い時間で広い地域を除雪しなければならないため、この雪を処理するのは困難です。除雪作業で間口に残った雪は、皆さんの手で処理するようご協力をお願いします。

❖ 深夜・早朝の作業にご理解を

朝の通勤・通学の時間までに除雪を終わらせるためには、深夜から早朝にかけて除雪作業をしなければなりません。騒音や振動などでご迷惑をかけることがありますので、ご理解ください。

❖ 路上駐車はやめましょう

除雪作業の時、最も困るのが路上駐車です。たった1台の車のために、作業が大幅に遅れたり、除雪ができなかったりすることがあり、地域全体に迷惑をかけます。



冬休み期間中は、子供の路上での遊びや飛び出しなどが多くなります。スピードダウン運転を心掛けてみましょう

中央区 歴史の散歩道

第81回

リゾート施設の先駆け

札幌温泉

娯楽場も備え、大勢の入浴客でにぎわいながら、わずか六年で営業を終えた幻の温泉「札幌温泉」を紹介します。

札幌温泉が誕生したのは、今からおよそ八十年前のこと。当時の札幌は市制を施行したばかりで、人口はようやく十三万人に達するころでした。現在、閑静な住宅街となっている界川・双子山地区も、農耕地や牧場などのどかな風景が広がっていました。

しかし、大正十一年になると、界川・双子山地区でも大規模な宅地分譲が始められることとなり、さらには環境整備の一環として温泉施設の建設も計画されたのです。温泉施設の建設を行ったのは、宅地分譲も手掛けた札幌温泉土地株式会社でした。当時は、湯脈を掘り当てる技術が発達していなかったため、同社は定山溪から界川までの約三十

丁目に完成したのです。

この温泉は、コンクリート造り二階建ての洋館風の豪華な施設で、前庭には、噴水やヒグマのおりなども置かれ、入浴客の目を楽しませました。宿泊施設も完備され、一度に五十人も入れる浴槽が二つ用意されていたといえます。

また、当時の札幌温泉までの交通機関は、夏はバス、冬は馬ソリでしたが、入浴客を増やし、分譲販売を促すため、札幌温泉土地株式会社は、電車事業にも着手し、昭和三年



洋館風の豪華な札幌温泉 (札幌市教育委員会文化資料室所蔵)

キ口の道のりに

コンクリート製の管を埋め込んで湯を流し、再度沸かす方法を取りました。こうして、十三年秋に、札幌温泉が現在の界川一

札幌温泉案内(中央図書館所蔵)



の春には、当時の円山三丁目停留所を起点とし、二子山通り分岐路まで至る単線(約二キロ)の運行を始めました。その後、温泉をはじめ分譲地区への交通は季節を問わず快適なものとなり、札幌温泉は市内各所からの家族連れや職場の同僚同士など、多くの市民でにぎわう憩いの場となったのです。

しかし、五年になって、電車の変電所が焼失するという思い掛けない事故が起こりました。この事故を引き金に、電車の運行は廃止され、さらに定山溪からの送湯システムにも支障をきたしてしまいました。このため、入浴客は激減してしまい、同年中に札幌温泉はわずか六年間でその栄華に幕を下ろすこととなりました。